

# 公教育計画学会年報 [第1号] 特集：公教育の現在と教育計画

## 公教育計画学会・編 2010

2010年6月下旬刊/A5判並製/定価1800円+税

発売：八月書館

巻頭言「新たな学会活動に期待する」  
学会設立の経緯

嶺井 正也  
嶺井 正也

### 特集 公教育の現在と教育計画

公教育と教育計画

——公教育計画学会への思いと提言

ナショナリズムと公教育

——戦後的論争からの決別のすすめ

公教育の計画化と財政

近代公教育と教育計画の思想

国祐 道広

高山 敬太

中村 文夫

元井 一郎

### 公教育計画研究レポート

脱戦後期における教職員人事管理政策に関わる一考察

——分限制度の変遷過程の検討を通して

自治体の教育政策をめぐる現状

——地方教育計画のネットワーク型策定への緒論

尾崎 公子

戸倉 信昭

### 公教育計画学会創立総会シンポジウムの記録

「公教育の無償化

——高校授業料の無償化実現に向けた課題」

### 公教育・公教育理論の動向

世界の学校はどのように変わろうとしているのか

——国際的な公教育理論の動向

西田 幸代

### 書評

嶺井正也・国祐道広編著『公教育における包摂と排除』

田口 康明

### 英文摘要/学会関係記事

編集後記

元井 一郎

グローバル化がすすむこの時点での公教育の問題分析を行い、その解決に適った政策を研究し、提案していきたい。研究枠組みとしては国家論や基本的人権論、宗教論さらには生産・再生産論を基本としては踏まえつつも、今日的はシティズンシップ論や社会的包摂・排除論を考慮に入れる必要もあるだろう。とくに、グローバル・シティズンシップやコスモポリタン・シティズンシップが議論されるようなグローバル的状况においては、公教育のあり方も多面的・多重的に把握することが不可欠となっている。さらに、忘れてはならないことがある。それは、今日の教育政策が振興計画を伴って、あるいは振興計画そのものとして打ち出されてきていることを見据えるならば、本学会が提言する政策も計画的なものでなければならない。  
(本書「巻頭言」より)